

# 地域連携・がん相談支援センターだより

Regional alliances and support

2016

53号



船出(撮影者：放射線科部長 永倉久泰)

## 目次

2. 新年を迎えて
3. 地域連携・がん相談支援センター主催  
地域連携講演会の報告
4. 連携医療機関のご紹介「れんげいの輪」
6. ケロイドの治療は放射線科へ
6. 新メンバー紹介
6. 医療安全研修会 ネット聴講のご案内
7. “紹介と逆紹介”を推進しています
8. KKR札幌医療センターの理念・基本方針  
編集後記  
地域連携・がん相談支援センター職員一覧



## 新年を迎えて

病院長 赤坂 嘉宣

新年を迎え早1か月が経ちました。

連携医の諸先生方には、当院が診療の柱として掲げる救急医療、がん診療のみならず、医療全般にわたり一方ならぬご高配を賜り誠に有難うございます。

札幌は至極平年並みの気候かと存じますが、100年来の雪に見舞われたというところもあるようで、日本列島は広く、様々なようでございます。10年ぶりに国技の相撲で日本出身力士が優勝するという、あまり誇れない快挙があり、反面ラグビー、サッカーでは初めてという好成績を上げているようで、喜ばしい大荒れと言うべきでしょうか。

当院は幅広く多くの診療科を有し、それぞれが高い専門性を有し、受診された患者さんに御不便をおかけすることなく、満足のいく診療を行うことを先々代の

南須原院長の時代より目標としておりました。特に医師を中心として脳神経外科、整形外科、心臓血管外科等、年々少しずつ、充実してきてはおりますが、現在なお医療環境においてはまだ濃淡があり、十分な診療には人的に困難な部門もあり、連携いただいている諸先生に御協力をお願いしなければならないところでございます。加えまして今年は診療報酬改定の年に当たっておりまして、厚労省の方針についていけるのか、その内容も気になるところであります。

しかしながら地域医療支援病院の資格をいただいた病院としてその名に恥じないように職員一同、精進してまいり所存でございます。何卒今年もよろしく御支援のほどお願い申し上げます。







## 地域連携・がん相談支援センター主催 地域連携講演会の報告

副院長 磯部 宏  
 地域連携・がん相談支援センター長

昨年 11 月 19 日に恒例の地域連携講演会を、今年度は院内会議室を会場として開催いたしました。今回の目玉はこの数年間に当院に赴任された“当院新人ドクター”、実は大ベテランによる講演でした。しかも全て外科系の先生方で、私（内科医）にとっては、どれも“目から鱗の落ちる”ような、とても新鮮な内容でした。

まずは眼科部長・吉澤史子先生の「当院の眼科手術～難治症例白内障手術・網膜硝子体手術～」の講演です。厚さ 0.5mm の強角膜を切るとか縫うとか、眼球に硝子体カッターや眼内照明ファイバーを挿入するとか、何て細かい診療技術なんだらうと驚かされました。次に脳神経外科部長・加藤正仁先生の「当院における脳卒中超急性期血管内治療の取り組み」の講演です。脳梗塞発症の超急性期には薬物療法に続き、緊急血管内治療（血栓吸引除去）を行い、予後や後遺症の改善を目指す治療です。脳神経外科の治療は頭蓋骨を外すことから始まると思っていた私には、とてもとても新鮮なお話しでした。次の講演は心臓血管外科第一部長・久保田卓先生の「心臓大血管手術－いかに体に優しくできるか－」です。腹部大動脈瘤のみならず、胸部大動脈瘤に対するステントグラフト治療や、弁孔を介してさらに奥を処置する治療など、低侵襲な心臓血管外科手術の紹介です。これまた術後は前胸壁に大きな手術痕という心臓外科手術のイメージを払拭するものでした。最後の講演は整形外科医長・竹内建人先生の「頸髄症に対する椎弓形成術－当科の工夫－」です。頸髄症による様々な症状（私自身が気になりました）から

始まり、いくつかの頸椎固定術の術式を紹介いただき、長期間の予後改善効果のある当院の工夫を披露いただきました。手術名は失念しましたが、“白鳥大橋”のような手術として強烈に印象に残りました。

ご参加いただいた連携医の先生方からは様々なご質問をいただき、当院の診療の広さと深さを実感いただけたと思っております。また当院の職員も多数参加しており、自院の診療技術や内容にあらためて感銘したようでした。今後も当院診療の情報発信を行うと共に、当院の診療内容が連携医の先生方のお役に立ちますよう努めますので、何かご座いましたら遠慮なく地域連携・がん相談支援センターに連絡いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



## 連携医療機関のご紹介 「れんけいの輪」

日頃、連携をさせて頂いている当院の連携医の先生を紹介します。

今回は、「月寒のぶおか内科消化器内科」の信岡 純先生と「はせがわ内科クリニック」の長谷川 浩一先生をご紹介します。

# 月寒のぶおか内科 消化器内科

院長 信岡 純

〒062-0051

札幌市豊平区月寒東1条4丁目3-8

☎ 011-859-7701 Fax 011-859-7702



みなさま、はじめまして。月寒高校、南税務署、ハローワーク札幌東の近くの豊平月寒2条線沿いに、2015年7月に開業致しました。専門は消化器内科で、特に胃内視鏡、大腸内視鏡に関して、国立がんセンター中央病院、KKR 斗南病院、王子総合病院などで、胃がん、大腸がんの内視鏡手術などの経験を数多く積んできました。現在も大腸ポリープの内視鏡切除術を日帰りで行っております。また札幌医科大学機器診断部でエコー検査に従事していたこともあり、腹部、甲状腺、頸動脈エコーも行っております。さらに札幌中央病院では高血圧、脂質異常症、糖尿病の管理をする機会も多く、その中で長くお付き合いしている患者さんが認知症を発症したとか、一人暮らしで不自由しているなどの問題にも関わるようになり、より身近な距離で患者さんを診療したいと思い、開業するに至りました。オープンしてまだ7ヶ月ですが、自分が予想していた以上に内視鏡検査のニーズが高いことを実感しました。検査が増えるということは、様々は病気が発見され、さらに高度な内視鏡検査、治療のできる消化器内科、外科と

の連携が必要になってきます。また胃痛という事で受診した方が実は心筋梗塞だったということもあり、先進的な医療を総合的にお願いできる病院である KKR 札幌医療センターの存在は大変心強い限りです。「どんなことでも、とにかく迷ったときには、ここに来れば何とかかなる」と思っていただけるところを目指していますので、今後も病診連携を深め、患者さんが「本当になんとかかなった」と思っていただけのように努めてまいります。

さて私事ですが、アイスホッケーのゴールキーパーをしており、学生時代から月寒体育館には試合や練習でよく通っていたため、ここはなじみの深い場所です。2017年2月には冬季アジア札幌大会も開催される予定で、アイスホッケーやカーリングなどの国際試合を身近で観戦できるのを、今から楽しみにしながら診療する毎日です。アイスホッケーでは“守護神”でしたが、地域医療においては“守治医”になれるように日々精進してまいります。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。



# はせがわ内科 クリニック

院長 長谷川 浩一

〒062-0024

札幌市豊平区月寒西4条10丁目7-17

☎ 011-851-0610 Fax 011-852-2754



生年月日：1968（昭和43）年7月1日（蟹座）

血液型：A型（RH+）

趣味：夏はゴルフ（ルーク・ドナルドのゴルフが好きです）

冬はスキー（ニセコの雪が好きです）

時々バスケットボールをしています（下手の横好きです）

スポーツ観戦（レバンガ北海道には注目しております）

音楽（昔はピアノを弾いていました）

## プロフィール

昭和43年（1968年）7月1日生

昭和62年 札幌南高校卒業

平成7年3月 札幌医科大学医学部卒業

平成7年4月 札幌医科大学付属病院第2内科学  
（現・循環器腎臓代謝内科学）講座入局

平成8年4月 旭川日赤病院・循環器内科

平成10年4月 帯広協会病院・循環器内科

平成14年4月 函館五稜郭病院・腎臓内科

平成24年4月 手稲溪仁会病院・腎臓内科

## 資格

日本内科学会・総合内科専門医

日本循環器学会・循環器専門医

日本透析医学会・透析専門医、指導医

日本腎臓学会・腎臓専門医

日本高血圧学会・高血圧専門医、指導医

日本医師会・認定産業医（予定）



昭和45年に父親が開設した旧「長谷川医院」の閉院に伴い、駐車場として使用していた空き地に新たに「はせがわ内科クリニック」として診療所を開業いたしました。広く内科疾患を初めとして、これまで研鑽を積んできた循環器内科、腎臓内科の経験を生かし、近年増加しているメタボリックシンドローム、あるいは生活習慣病に対する外来診療を充実させていきたいと思います。また、それらを基礎として発症する狭心症、心筋梗塞、動脈瘤、ネフローゼ症候群、腎不全に対して地域住民の皆さんに分かりやすく安全で安心のできる医療を提供し、近隣医療圏の先生方とスムーズな連携を取っていききたいと思います。また、「看取り」を含めた在宅医療も手掛けることを目標に、訪問診療も広げ

ていきたいと思っております。その一つの形として、在宅医療のお手本とも言われる腹膜透析について、まだ症例は持っておりませんが、適応のあるケースがあれば積極的に関わっていきたく思っております。ご紹介いただけたら幸いに存じます。KKR 札幌医療センター様には、患者さんのCTや急性心筋梗塞などの急患をいつも快くお引き受けいただき、大変助かっております。ありがとうございます。今後とも、症例発生時にはご加療・ご高診いただけたら幸いに存じます。逆に、外来管理、往診医療で十分対応可能な症例がありましたら、いつでもご連絡ください。今後ともよろしく願い申し上げます。

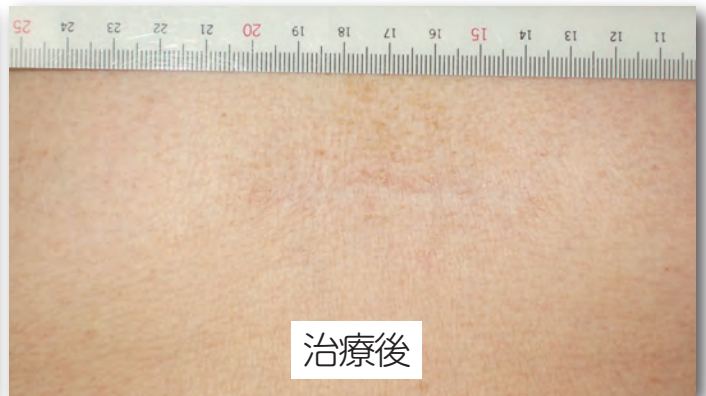
## ケロイドの治療は放射線科へ

放射線科部長 永倉久泰

「ケロイドは、日帰り手術と3～4回の放射線治療で、6～7割治すことができます。70例以上の実績を持つKKR 札幌医療センター放射線科にご相談ください。また、手術後のケロイドも放射線治療で予防できます。ケロイド体質の方に手術を予定している場合は、ぜひ手術前にご相談ください。(写真は本人の了解を得て掲載しています)」



治療前



治療後

### 新メンバー紹介 (戻って参りました)



#### 池 好未 (いけ よしみ)

平成27年 2 月より出産・育児のためお休みをいただいております池好未と申します。11 月より再び地域連携・がん相談支援センターに配属となりました。現在は地域連携業務をメインに訪問看護も行っていきます。時間に追われる日々ではありますが、自分らしくいられる時間に喜びを感じています。新しいことを吸収する能力に衰えを感じる今日この頃ですが、そのような中でも私のモットーである“丁寧”な対応、迅速かつ適切な判断のもとで対応が出来るように努力していきますのでどうぞ宜しくお願い致します。

### 医療安全研修会 ネット聴講のご案内

当院にて平成 28 年 3 月 14 日 (月) に東京 KKRシミュレーション・ラボセンター (東京 虎の門病院分院内) で開催されます医療安全研修の模様をネット聴講する事が決定しました。つきましてはご多忙中恐れ入りますが、皆様のご参加をお待ちしています。

開催日：平成 28 年 3 月 14 日 (月) 9：30～18：00

場 所：KKR 札幌医療センター 第1・3 会議室

内 容：事故原因分析手法 『メディカルセーフター』

午前中：講義 午後：グループワーク

講 師：株式会社NSDビジネスイノベーション

田島 英明 先生

# “紹介と逆紹介”を推進しています

地域連携・がん相談支援センター師長 湯瀬 美佳子

## 外来診療の紹介と 逆紹介体制を強化致します。

KKR 札幌医療センターは当地域の中核的な急性期病院として、平成 22 年に「地域医療支援病院」の承認を受けました。そのため、当院では主に「かかりつけ医」からの紹介患者さんを中心とした専門的治療・検査、入院診療に重点を置いて参りますのでご協力をお願い致します。

### ●具合が悪い時にかかれるお近くの「かかりつけ医」をお持ち下さい。

病状の悪化やより詳しい検査が必要になった場合は「かかりつけ医」が当院に紹介状を書き、より高度な検査や治療を提供させていただきます。

また、当院での治療により病状が安定した患者さんは「かかりつけ医」に逆紹介させていただきます。その際は当院での治療経過や検査結果などを記載した診療情報提供書をお渡し致します。当院「地域連携室」より「かかりつけ医」を紹介させていただきますのでご相談下さい。

### ●当院を初めて受診される患者さんは、原則として紹介状をお持ち下さい。

紹介状を持たない患者さんはお近くの医療機関を紹介させていただく場合もあります。ただし、緊急性のある病状につきましてはその限りではありません。また、健康診断で「要精密検査」と書かれた結果をお持ちの方は紹介状がなくても構いません。

### ●紹介状をお持ちの患者さんは、事前に受診予約ができますので、かかりつけ医にお申し出下さい。



当院の医事課受付や外来、病棟には上記ポスターを掲示し、患者さんに“紹介と逆紹介”の推進を行っております。当院は平成 22 年に「地域医療支援病院」の承認を受けました。これは「地域の病院・診療所などを後方支援するという形で医療機関の機能の役割分担と連携を行う」ことを目的に平成 8 年に始まった制度で、当院は当地域の中核的な急性期病院として、地域の病院・診療所と連携して患者さんに専門的な治療・検査、入院診療に重点を置くこと、つまり一般の医療機関では実施することが難しい手術や先進医療・高度医療などを必要とする患者さんの治療を行うことを役割としています。また、診断が確定し治療が終了した場合や病状が安定した場合には、地域の

医療機関にご紹介させていただくなど、患者さんにとってより身近な医療機関で安心して医療を受けていただけるよう、逆紹介の推進も行わなければなりません。そこで、地域連携室では患者さんに安心して地域の医療機関に行っていただけるよう、連携医の先生を中心にご紹介しております。また、逆紹介させていただいた患者さんが当院の受診が必要となった場合は、地域連携室で外来受診や入院の調整を致しますのでご一報のほどよろしくお願い申し上げます。

今後とも当院地域連携・がん相談支援センターへのご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## KKR 札幌医療センター 理念

「病院は人」のところで、活力ある病院、選ばれる病院を創ります  
生命の尊厳を保ち、健康の回復につくします  
温かな配慮で安寧（あんねい）につくします

## 基本方針

1. “生活の質” 向上に重きをおく医療を心がけます
2. 安全を確保し、時代を先取りした医療を推進します
3. 患者さんの声に耳を傾け、分かりやすく説明します
4. 医療の情報を進んで開示します
5. 地域に信頼される医療を目指します

## 編集後記

新しい年を迎えました。さっぽろ雪まつりが終わってしまい、だんだん時間が過ぎる速さを感じてしまう今日この頃ですが、3 月には北海道新幹線が開業、8 月にはリオデジャネイロ五輪開催とワクワクしそうな一年となりそうです。

今年は暖冬かと思っていましたが、1 月に入り寒さが厳しくなりました。まだまだインフルエンザや風邪等の油断がならないので、皆様、ご注意くださいお過ごしください。

本年も地域の先生方や患者さんのお役に立てる病院であるよう努めて参りたいと思います。ご指導ご鞭撻の程を何卒よろしくお願い申し上げます。

医療社会事業相談室 社会福祉士 宮崎 雪枝

## KKR 札幌医療センター

〒062-0931 札幌市豊平区平岸 1 条 6 丁目 3-40  
TEL 011-822-1811(代)

連携いただいている先生方よりお受けしております  
地域連携室直通 TEL 0120-552-303  
FAX 011-832-9624

医療施設・患者・家族よりお受けしております  
がん・緩和ケア相談 TEL 011-832-3260



## 地域連携・がん相談支援センター職員

センター長 磯部 宏 (兼副院長)  
副センター長 齋藤 敦  
センター師長 湯瀬 美佳子  
地域連携室 池好未 看護師  
島田久子 看護師  
大石ひろみ 事務員  
小口知美 事務員

医療社会事業相談室 松田知恵 社会福祉士 (主任代行)  
木村府佐子 社会福祉士  
宮崎雪枝 社会福祉士

在宅看護・退院支援室 室長 平田公子 看護師 (主任)  
長谷川明河 看護師  
小松友希 看護師

がん相談担当師長 平山さおり (兼緩和ケア病棟師長)